「第４８回脳活研究会」

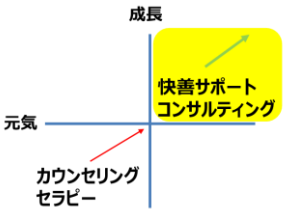
応援フィードバックのコツ

～社会脳テストを使った面談のゴールとは？～

今回は、職場での上司部下の面談や、仕事やメンタル面の相談のためのカウンセリング、の場面での「やりにくさ」「困った」に対してのお悩みに着目しました。社会脳テストを使って、どんな方法で取り組んでいるかをお知らせします。

●応援フィードバックとカウンセリングの「違い」

カウンセリングは、宗教的・社会的・心理学的な背景を融合しながら「人が自分らしく生きるための支援技法」として発展してきたものです。基本的には90%は傾聴というスタイルや、セラピーとしての意味合いが強いためマイナスの状態からゼロに戻す手法が多いのが特徴といえます。快善サポーターの応援は、プラスをちょっとマシにという目的のため、社会の中で貢献度を増やすことのみに目が向く手法です。



●「視える化ツール」のメリット

社会脳テストを使うと、受けていただいた方自身の状態をできるだけ客観的に、お互いに受容することが容易になります。FBをする「人」の信頼関係だけに頼ると、その構築までに時間を要することもあります。一方で、目安として「自分の受検結果」を介すると、自分への信頼がちょっと信頼を増してくれます。結果が「自分の視える化」のツールとして活用できるためです。

●仲間として応援する

FBの場合も立場は「サポーター≒応援者」です。上下も無いし、必要だと思うこと、相手の状況を聞いて、自分が参考になることを知っているなら提供するのも仲間なら当たり前。既に元気に活躍している人が困ったときの、「快善（ちょっとマシ）を応援するのがモットーです。

【開催日時】2026年1月14日（水）１９：００～２０：３０

【主 催】
脳活研究会

【協 賛】
株式会社ウェルスマイル
株式会社キャリエール
メディカルアシスト産業医｜労働衛生コンサルタント事務所
リラグゼーションサロン花　株式会社カイマネージ

【定 員】10名程度　　【費 用】無料

【お申込み】
Mail　k-tomohiro@kaimanage.co.jp
氏名・連絡先・アドレス等お知らせください。

【お問合わせ】
担当 小林 090-4103-0743

リモート開催!!